

Line

[ホットライン]



広報みよしが 全国広報コンクール4席受賞



▲全国広報コンクールで「4席」を受賞した平成19年1月1日号。本町は、同コンクールにおいて、平成8年には「特選」、平成6年に「7席」を受賞しています。

広報みよしが、社団法人日本広報協会主催の平成20年全国広報コンクール町村の部で、第5位に当たる「4席」を受賞しました。受賞したのは、平成19年1月1日号。食育を特集したもので、食育Q&Aや学校栄養職員や食生活改善推進員などへの取材、「伝えたい三好の味」の紹介、野菜の栄養知識など、「食」の大切さをさまざまな角度から訴えた内容と飽きの来ない編集デザインが評価されました。

広報は、取材などを通して多くの皆さんの協力を得て編集しています。今後も、この受賞を励みに「みなさんと町政を結ぶホットライン」として広報の充実に努めていきます。

また今回、広報みよしに対して、皆さんから寄せられたご意見やご質問に対する回答をお知らせします。

フルカラーの広報は「ぜいたく」なのでは？

広報みよしのように一般的なフルカラーの印刷物は、青・赤・黄・黒色の4色の版を重ねて色を表現しています。以前の広報みよしは、1日号は青色と黒色、15日号は赤色と黒色の2色の版で印刷していました。近年では、印刷機のカラリ化や技術改良が進み、4色印刷と2色印刷の金額差が従前より小さくなっている状況です。また、印刷にかかる経費を抑えるために、現在、広報みよしの原稿は、印刷に出すまでの原稿のデザイン、編集を、すべて職員がパソコンを利用して行っています。

同じ写真でもモノクロよりカラーの方が伝わる情報量が多く、より住民の皆さんに親しみやすく、読みやすいと感じていただけるように、フルカラー印刷を行っています。

■広報みよしフルカラー(4色)と2色印刷の1ページ単価比較表

年度	1ページ単価(税込み)
平成17年度(2色印刷)	1.134円
平成20年度(4色印刷)	1.197円

Hot

広報みよし



情報提供募集

Hot Line 広報みよしでは「瞳を輝かせて」で紹介させていただく町内在住、在勤、または在学の人物やグループを募集しています。

いろいろな分野で、興味深い活動などを行っている人物、グループをご存知の皆さん、秘書広報課まで情報提供をお願いします。

とじ穴を開けてほしい

2

現在、広報みよしは、とじ穴を開けていません。これは、穴を開ける経費を削減するためと、穴を開ける際に出るごみをなくすことで、再生資源としての紙のリサイクル率を高めるためです。

また、穴を開ける位置が紙面上の写真にかかったときに、写真に写っている人の体の部分に重なってしまうことがあり、その人に不快な思いをさせることのないように配慮していることもとじ穴を開けていない理由の一つです。

ファイルやとじひもで保存をしたいとお考えの皆さんには、不便をお掛けしますが、どうぞご理解とご協力をお願いします。なお、ご自身でとじ穴を開ける場合は、広報裏表紙の左端の帯の中央部にある「▲」印を穴開けの中心目印として、ご利用いただけます。

今後も、広報みよしを多くの方が保存していただけるような広報紙づくりに努めてまいります。

紙は100%再生紙?

3

印刷業者を通じて製紙業者の確認を取り、現在、古紙配合率100%再生紙を使用しています。

毎月1回の発行にしています?

4

広報の配布にかかる経費は、半分になります。しかし、住民の皆さんにお伝えすべき情報は、内容・量ともあまり変わらないため、1号当たりでは、ページ数が増加し、印刷に係る経費は増えることになります。

また、町内部でも検討した結果、住民の皆さんに迅速に情報を伝えるためにも、町政に関する情報を得る機会をより多く確保するためにも現在のとおり月2号を発行していきます。

引越したばかりで 広報紙が配られて来ない

5

現在、広報みよしの配布は、各行政区を通じて、地区内の全世帯に配布を行っています。三好町に引越してきたばかりで、自宅に広報が届かないといった場合は、お住まいの行政区の事務所や公民館、集会所、区長の皆さんまでご連絡ください。

広報みよしは、町ホームページ(<http://www.town.aichi-miyoshi.jp/>)でもご覧いただけます。広報みよしに関するお問い合わせは、役場秘書広報課まで
電話：☎(32)885017
ファクス：☎(34)60008
電子メール：✉hisayoko@town.aichi-miyoshi.jp

「ヴォイス」 Voice

三好町では、町民の皆さまからの町政に対する意見を町長が直接お聴きする、対話集会「皆さまと語る会」を開催したり、提言箱や電子メールなどを通して「皆さまの提言」をいただいたりすることによって「心の通う対話の町政」を進めていくと努めています。この「コーナー」では、「皆さまと語る会」で寄せられた意見と町長の発言要旨や「皆さまの提言」に寄せられた意見のうち、主に生活にかかわる内容の意見と回答を紹介しています。今回は「皆さまの提言」に寄せられた意見の要旨と、それに対する三好町としての考え方を抜粋で紹介いたします。

皆さまの提言

意見

(提言箱)

新春三好町マラソン 駅伝大会の一般男子の部の出場区分について

2・3年ほど前から、新春三好町マラソン駅伝大会の出場区分で、一般男子の部の39歳以下と40歳以上の年齢区分がなくなりまして、40歳以上の人も10代の高校生や20代の現役陸上部員と同じ土俵の上で競うことになりました。入賞することを目指す目的のすべてではありませんが、わたしたち40代から60代の市民ランナーもそれなりに目標を持って走っています。わたしが思うに年々、年配のランナーの参加が少なくなってきたように感じます。



新春三好町マラソン 駅伝大会の
マラソン一般男子のスタート

以前のように、一般の部で年齢区分を設定していただけると、われわれ40歳以上の年齢のランナーにとって励みとなります。検討をお願いいたします。

答え

(担当 スポーツ課)

三好町マラソン 駅伝大会実行委員会の中で調整します

新春三好町マラソン 駅伝大会は平成18年大会まで、マラソン一般男子の部を40歳以上の部と39歳以下の部に分けて実施していました。平成19年大会から2部を統合し、一般男子の部として実施しています。統合した理由は、対象部の参加者が減少する反面、駅伝の部の参加チームが増加したことから、運営面の負担を軽減することを考慮したためです。その後、ランナーの記録測定で、セッケン内にチップを埋め込み、記録を測定する新システムを導入するなどして、以前に比べて負担が軽くなりつつあります。

そこで、一般男子40歳以上の部、同39歳以下の部の開催については、今後、三

好町マラソン 駅伝大会の企画・検討を行っている三好町体育指導委員会専門部会で協議し、主管団体である三好町マラソン 駅伝大会実行委員会の中で調整します。

意見

(提言箱)

税金の納税通知書の保管形態について

平成19年度より固定資産税などの納税通知書(納付書)が、期別で1枚ずつバラバラの状態で送付されてきます。以前はホチキスで留めて1冊にまとまっていたため、支払いもしやすく、領収書がそのままの状態でも保管でき大変便利でした。紛失の可能性もあり保管しにくいので、以前のようにホチキスで1冊にまとめて保管しやすい状態で送付してほしいです。

答え

(担当 税務課)

「コンビニ窓口での納付を可能にするためです」

「コンビニ窓口での納税を始めるに当たり、全国のコンビニエンスストア経営会社から条件が付されました。従来のブックキング(ホチキス留め、のり留め)型の納付書は、書類の判断や確認作業が要求されるなど、「コンビニ窓口での手続きが煩雑となり、ミスが起りやすいなどの問題点があり、取り扱いできない」ということです。

そのため、本町を含め全国の自治体で、



皆さんの家は大丈夫ですか

「災害は忘れたころにやってくる」。昔からいわれてきた戒めですが、昨今、メディアの普及が進み、世界中の災害情報を瞬時に知ることができる現代では、「災害は忘れる間もなくやってくる！」ともいえます。

岩手・宮城内陸地震も地域の人のにとっては晴天のへきれき、われわれにとっても今までに発生が予測されていない地域での地震は大変な驚きです。土曜日の朝、山中の一軒宿に泊まった人や戸外で仕事を始めた人、釣り人、山菜採りの人、車で移動中の人など、被災した皆さんには不運といえれば不運、何とも申し上げようがありません。ご冥福をお祈りします。

木々の生い茂る美しい山並みが一瞬にして無残な姿になるとは、誰もが想像し得なかったこと。震源地の向こう30年間の大地震発生確率は0%で、地震予知の難しさを露呈したものでした。毎回言っていますが、東海地震はい

つ起きてもおかしくないといわれて30年。その間、予知されていない地域で多くの地震が発生しています。直下型地震はそれだけ予知が難しいのでしょう。東海・南海地震などは予知ができるといわれていても、あまり当てにしないほうが良いのかも。

猿投・高浜活断層は、猿投からわが町をほぼ境川沿いに南下して、高浜まで続く地域とされています。これも今後300年以内に大地震が起きる可能性は、限りなく0%といわれています。わたし自身も安心はしていますが、いつ起きてもおかしくないと考えたほうが正解なのかもしれません。「備えあれば憂いなし」ですから。わが町も公共の施設、特に小中学校や保育園などには、早急に緊急地震速報システムを設置して、少しでも安全で安心できるようにしていかなければいけないの思いが募ります。

また、住宅の耐震診断をしてくださいとお願ひして待つのではなく、積極的に働き掛ける方法も考えていかなければなりません。まず家具の転倒防止など、各家庭でできることから始めてください。わが家は大丈夫などと努々思わないでください。

三好町長

久野町長

7月7日(月)午前8時から、「コミュニティFM、ラジオ・ラフィート(78.6MHz)の「みよしモーニングニュース」で、久野町長がコラムの内容を話題に生出演します。

コンビニ収納用の納付書はブックングをしないものとなっております。納税者の皆さんにはお手数ですが、ご理解とご協力をお願いします。

意見 (提言箱)

さんさんバスの時刻表の設置について

さんさんバスでジャスコに行きたいのですが、バスの時刻表がないので乗車時間が分かりません。バスの時刻表を公共施設などに置いてください。

答へ (担当 政策推進課)

主な公共施設に置いてあり、町のホームページでも検索できます

さんさんバスの時刻表は、各バス停にそれぞれ表示があります。時刻表パンフレットは、町民病院やサンネットなど主要な公共施設に置いてあります。またバス車内でも運転手に申し出ていただければ受け取ることができます。置き場所については検討し、分かりやすい場所に設置するように配慮します。そのほかの方法として、インターネットで三好町のホームページや携帯電話のウェブサイトから検索することもできます。

携帯電話用QRコード

www.town.aichi.jp
-miyoshi.lg.jp/
seisaku/sansan-bus/m/



携帯電話用QRコード

皆さまからの提言をお待ちしています

三好町では、心の通う対話の町政を進めていこうと、町政に対する皆さまからの提言をいただくため「皆さまの提言箱」を設けています。

▶設置場所＝役場、サンネット、サンアート、町民病院、総合体育館、中央図書館

※提言は「皆さまの提言箱」のほか、下記のいずれかの方法でも受け付けています。

- ①電子メール…✉ teigen@town.aichi-miyoshi.lg.jp
- ②ファクス…☎(34) 6008
- ③郵便…〒 470-0295 三好町役場秘書広報課あて(住所不要)



携帯電話からメールで提言できます

秘書広報課 ☎(32)8357

